

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)  
[PCT36 条及び PCT 規則 70]

REC'D 30 MAR 2006

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 F0314PCT	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/17059	国際出願日 (日.月.年) 26.12.2003	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. B08B7/04(2006.01), B08B1/04(2006.01), H01L21/304(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) アイオン株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input type="checkbox"/> 附属書類は全部で ページである。</p> <p><input type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p>
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>

国際予備審査の請求書を受理した日 14.07.2005	国際予備審査報告を作成した日 01.03.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 金丸 治之	3 K 9535
	電話番号 03-3581-1101 内線 3332	

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

## 第I欄 報告の基礎

## 1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

☒ 出願時の言語による国際出願☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

## 2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類☐ 明細書

第 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(e))☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-8	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲 4	有
	請求の範囲 1-3、5-8	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-8	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: US 6 240 588 B2 (Lam Research Corporation)  
2001.03.05

請求の範囲1、7、8について

国際調査報告に引用された上記文献1には、軸方向に延びる内孔、及び該内孔から円周外表面に連通する複数の小孔を有する、洗浄用スポンジローラ用の円筒形の中芯が記載されている。内孔の直径、小孔の直径についての数値範囲に臨界的意義はなく、当業者であれば適宜決定し得る範囲の事項にすぎない。また、小孔の開口断面積の合計を、内孔断面積よりも大きくする程度のことも当業者であれば適宜なし得る。よって、請求の範囲1、7、8に係る発明は文献1により進歩性を有しない。

請求の範囲2について

文献1には、軸方向に設けた溝に小孔を有する中芯が記載されている。隣り合う溝に有する小孔が、同一円周上とする程度のことは当業者であれば適宜なし得る。よって、請求の範囲2に係る発明は文献1により進歩性を有しない。

請求の範囲3について

一の溝に空いている小孔の数については当業者であれば適宜決定し得る。よって、請求の範囲3に係る発明は文献1により進歩性を有しない。

請求の範囲4について

一の溝に空いている小孔の数を、軸方向において異なる数の繰り返しパターンとすることは、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、また自明な事項でもない。

請求の範囲5について

文献1には、円周方向において等間隔に溝を配置し、一つおきに小孔の配置を変えてなる中芯が記載されている。よって、請求の範囲5に係る発明は文献1により進歩性を有しない。

第Ⅶ欄 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

本願の請求の範囲 5 には、「内孔」と記載されているが、「小孔」の誤記と認められる。